

本校の教育について

1 本校の理念と教育目標

本校は、社会福祉法人新生会を母体とし「他人のいたみを自分のこととして感ずる感性と人が等しく生きてゆくことの福祉観」を基本理念とし、「地域医療・地域福祉の最前線を担う即戦力となる人材を育てる」を本校の教育目標としています。教育基本法の本質に則り、学校教育法に従い、最高の技術と高度な知識、人格を国際レベルで習得し、日本の福祉・医療・保健の分野で有為の人材を育成することを目的としています。

2 教育方針

- (1) 実際の医療・福祉の現場で学ぶ
- (2) 最先端の学びの実現
- (3) 認知特性を活かした一人一人に応じた教育

3 教育内容

- (1) 本校は、設置母体である社会福祉法人新生会にある豊富な医療・福祉現場を活用し、座学で身に付けた知識を、実際の医療・福祉現場での体験を通して確かめ検証し、専門士としての知識・技能を高めることを重視しています。
- (2) 本校は、岐阜県が進めるDX事業（ITやデジタル技術を効果的に活用した事業や教育）に積極的に参画し、電子黒板による授業や、VR機器を活用した解剖学学習、スマートグラスを活用した医療・福祉現場と教室を結んだ授業など、ICTを活用した授業を展開しています。
- (3) 本校は、学生の認知特性に応じて一人一人に最適な学習方法を個別に指導し、国家試験の合格を目指しています。さらに、本校が積み重ねてきた教育実践の知見を活かし、小学校や中学校、高等学校の児童生徒への学習や生活の支援を進めています。
- (4) 本校は、幼児を対象とした読み聞かせなど地域に開かれた図書館「あさぎいろ」、小学生を対象とした「体の使い方教室」、「ツインバスケットボール体験教室」、高齢者を対象とした「ドライビング・サポート教室」など、地域に開かれた学校づくりに取り組み、持続可能な地域社会づくりに貢献しています。